

テーマ	何杯売ったら達成できる？				
概要	廉価販売をしているものについて、「原価はいくらだろう」「利益はどれくらいあるのだろう」と興味を持ち、売上数量や利益額を算出する問題を、コンピュータを利用し解決する。				
ねらい	売価が違って利益額が同じ場合に、売上目標額を達成するためには、どれだけの数量を売り上げたらよいか。その時の売上数量と利益額を求めるため、表計算ソフトを利用し、作表（算出）させ理解させる。				
関連する主な科目・項目	問題解決とコンピュータの活用	難易度	易・普・難	想定時間数	約1時間
準備するもの	表計算ソフト（Excel等）	作成者	高田昌史		

1 学習の展開

1. 導入

最近「廉価販売」（値段を安く販売されているもの）がされているものがあります。何があるかまず考えてみましょう。

代表的なものは、ハンバーガーや牛丼、衣類があります。

さて、ここで考えてみて下さい。

同じものが急に安くなりましたが、それにともない原価（作るために使われたお金）は変わるのでしょうか？また、利益（売り上げたときに儲かるお金）を値下げ前と変わらず得ることができるのでしょうか？考えてみましょう。

ここではまず、「原価 + 利益 = 売価」の式を覚えて下さい。

この式を簡単に説明すると、

「作るために使われるお金」 + 「売り上げたときに儲かるお金」
= 「売るときの値段」 のことです。

（例）原価 ￥350 利益 ￥50 のとき、売価は ￥400 になります。

2. 展開

例題1

今回、牛丼の値下げをするために、材料を安く仕入れることを考え、仕入先の業者と交渉しました。

その結果、材料を安く仕入れることに成功し、原価を安くすることができました。

これにより、売価を￥280に設定することができました。

利益は￥400で販売していたときと同様の￥50を確保しました。

つまり、

￥400で販売のとき、原価が ￥350 で 利益が ￥50

￥280で販売のとき、原価が ￥230 で 利益が ￥50

ということです。

毎日の売上目標額は¥20,000です。

さて、売上目標額をクリアするためには、それぞれ「何杯」販売すればよいでしょうか？また、利益額はそれぞれいくらであったでしょうか？
考えてみましょう。

もし、フォーマット（書式）がイメージできないときは、下の表を参考にして下さい。（できれば、オリジナルの表を作成してみましょう。）

牛丼売上数量・利益一覧表				
売上数量	¥400	利益	¥280	利益
1	400	50	280	50
2				
3				

計算をしていくと、下のような計算結果になります。

48	19,200	2,400	13,440	1,440
49	19,600	2,450	13,720	1,470
50	20,000	2,500	14,000	1,500

¥400で販売したときは、**50杯** 売り上げれば、売上目標額をクリアできることが分かります。

さらに計算をしていくと、下のような計算結果になります。

70			19,600	3,500
71			19,880	3,550
72			20,160	3,600

¥280で販売したときは、**72杯** 売り上げれば、売上目標額をクリアできることが分かります。

3. まとめ

売上目標額 ¥20,000を達成するためには、

¥400で販売したときは、

50杯 販売しなければ達成できません。

なお、その時の利益額は **¥2,500** となります。

¥280で販売したときは、

72杯 販売しなければ達成できません。

なお、その時の利益額は **¥3,600** でした。

表の作成は良かったですか？答えは合っていましたか？

2 発展問題

例題 2

今まで、¥350かけて作っていたものが、¥230で作れるようになりましたが、はたして、利益額の¥50を確保することは可能だろうか？もしかしたら、利益額を抑えて（利益も安くして）売価を設定したのではなかろうか。しかし、¥280で販売しても利益は必ずあるはずですよ。

そこで今回は、

¥400で販売のとき、原価が ¥350 で 利益が ¥50

¥280で販売のとき、原価が ¥230 で 利益が ¥30

で販売したとき、売上目標額の¥20,000を達成できたときには、それぞれの利益額はいくらになるでしょうか？考えてみましょう。

同じものが、安くなりました。売上数量はどう変化していくのだろうか？研究してみましょう。

経済の用語に「**薄利多売**」という言葉があります。どういうことか一度調べてみましょう。